

いま むら かつ ひこ

今村克彦さんの講演会が 開催されました

10月15日、パークスガーデンプレイスで今村克彦さんの講演会「共育を考える」が、笠間青年会議所主催により開催されました。

今村さんは京都で小学校教師として24年間勤め、現在全国の不登校児のための活動を行っています。ダンスを取り入れた型破りな教育方針で知られ、今村さんをモデルとしたテレビドラマも放送されました。

講演では「教える育てる」ではなく「共に育ちあう」
きょういく
「共育」をキーワードに、数々のエピソードを話してくれました。



壇上から降りて熱弁をふるいました

ひとらばランチを開催しました

9月29日に窯業指導所の研修室で、医療従事者や歯科衛生士、介護師、社会福祉協議会の職員等が集まり、笠間焼で作成したすくしやすい器に舌でくずせる摂食回復支援食を入れて試食する「ひとらばランチ」が開催されました。

振り返しがついている器や取っ手がついた器など健康状態に合わせていろいろな器が用意されました。集まった方々は片手ですくえる器やストローを固定できる湯のみなどを実際に試したり、一見普通の料理に見えても、舌でくずせる軟らかさの煮物や麺類などを味わったりしました。



器の特性について説明を受ける参加者

震災復興支援活動報告会

岩間中学校の生徒30名による震災復興ボランティア活動が8月25日・26日に行われ、その報告会が9月20日に岩間中学校体育館において行われました。

宮城県石巻市立河南東中学校と避難所での活動を、プロジェクターを使用して全校生徒に報告しました。被災者が津波の様子を語る場面では、経験者の生々しい話に生徒たちは衝撃を受けていました。

報告会を通して、全生徒がボランティア活動の重要性を感じとっていました。



報告会の様子

マロンdeかさま

10月15・16日、笠間ショッピングセンターポレポレで笠間の栗グレードアップ会議によるイベント「マロンdeかさま」が開催され、焼き栗や栗甘納豆、栗菓子、栗稻荷寿司、栗ジャムなどの展示販売が行われました。

茨城県は栗の出荷量全国一、笠間市はそのなかでも代表的な栗の産地です。

市内から来場した方も「市内にこれだけの栗の加工品があるなんて知らなかった」「どれもおいしいそう」と買い物を楽しんでいました。



笠間の栗に舌つづみ

人権擁護に尽力 法務大臣表彰を受賞

平成23年10月5日、法務省において、当市人権擁護委員の坪井敬二さん(箱田)が、永年にわたり人権擁護活動に尽くした功績を認められ、法務大臣より表彰されました。

坪井さんは、平成10年7月1日から人権擁護委員として法務大臣より委嘱され、現在も、人権擁護活動にご活躍されています。



表彰状を手にする坪井さん



笠間市建設業協力会・笠間地区 施工組合菊花壇設置に協力

笠間市建設業協力会の笠間支部および友部支部と笠間地区施工組合は、毎年菊まつりの開催に合わせて菊花壇設置のボランティアを行っています。

今年は約40名のご協力により、次の9か所に菊花壇が設置されました。菊花壇は11月23日まで設置されていますので、ぜひご覧ください。

【菊花壇設置場所】

JR笠間駅前、JR友部駅北口、JR友部駅南口、稲荷駐車場、大町駐車場脇、荒町駐車場、商工会脇駐車場、稲荷神社常夜灯前、弁天町ポケットパーク



商工会脇での設置の様子

認知症標語の表彰・講演会が行われました

笠間市が、認知症啓発標語を募集したところ、600点という多くの作品が寄せられました。この中から8名の方の標語が選ばれ、10月1日、表彰式が行われました。

最優秀賞は、中学生の部は安田萌衣さん「認知症 正しく知って早めの手当 囲むみんながお医者さん」一般の部は大平三代子さん「老いていく道 通る道 悩まず話そう 家族と共に」。当日は、NPO認知症ケア研究所代表・東京工科大学教授六角僚子先生の講演会「認知症どう支えますか」が同時開催され、認知症支援の大切さを改めて考える一日となりました。

☆受賞者【中学生の部：最優秀賞(笠中) 安田萌衣さん・優秀賞(友二中) 石川佳代さん・佳

作(東中) 宮本一輝さん・佳作(笠中) 小谷遥佳さん・一般の部：最優秀賞 大平三代子さん・優秀賞 辻大士さん・佳作 西山三枝子さん・佳作 川井あや子さん】



受賞者の皆さん